

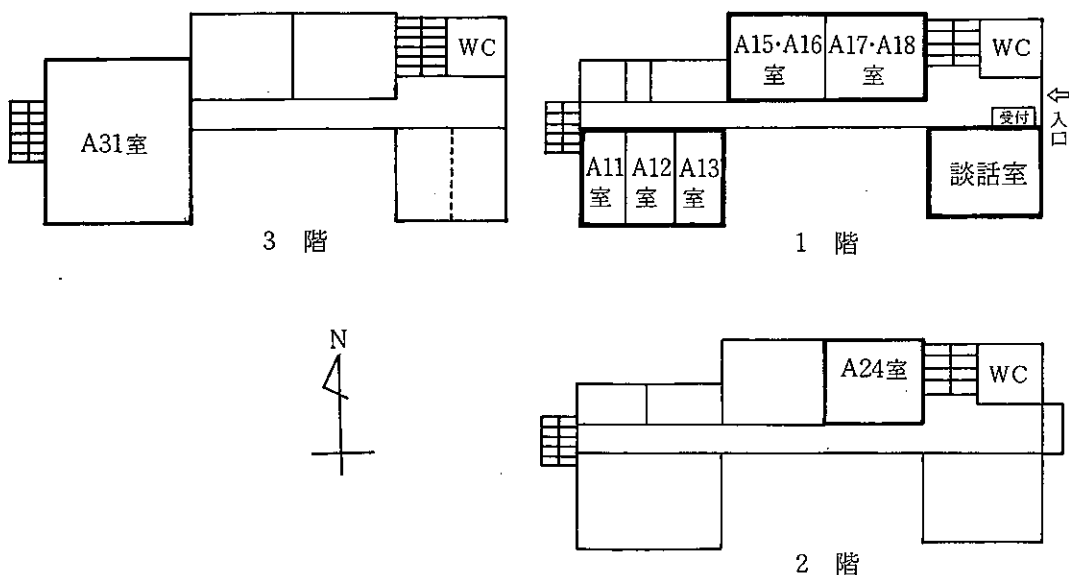
日 程 表

		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
9/3 (木)	受付	A. 教育 (A15・A16室)		昼 休	総 会 (A31室)	特 別 テ ー マ (A31室)					
		B. 社会行動のモデル論 (A17・A18室)									
9/4 (金)	受付	C. 言語・認知 (A15・A16室)		昼 休	特 別 講 演 (A31室)	パネ ル・ ディス カッ ション (A31室)					
		D. 尺度構成 (A17・A18室)									
		E. 自動診断 (A24室)									
9/5 (土)	受付	F. 統 計 (A15・A16室)		昼 休	I. 多変量解析 (A15・A16室)						
		G. 計算機利用 (A17・A18室)			J. 医 学 (A17・A18室)						
		H. 心 理 (A24室)			K. 社 会 (A24室)						

9:40

今回は、懇親会は取りやめにさせていただきます。なお1階談話室に恒常的に
茶菓を用意致しますので、討論、歓談にご利用ください。

会 場 案 内 (教養部新館)



第 1 日

9月3日 (木)

セッションA 一般テーマ 教育

A15・A16室

(10:00~12:00)

座長 岩坪 秀一(大学入試センター)・永岡 慶三(神戸大教育)

A-1 基礎学力の多変量解析(2)

○長島 久・藤掛真里子・谷山 郷子・藤田 尚夫(足利工大経営)

A-2 数量化3類における推移確率行列とテスト問題評価への応用可能性について

岩坪 秀一(大学入試センター)

A-3 情報包含関係によるアンケート項目間の関連状態の分析

永岡 慶三(神戸大教育)

A-4 エントロピーモデルと得点分布の形状

○松原 伸一・藤田 廣一(慶大理工)

A-5 多選択肢テストにおける実力モデルとその得点分布について

○有田清三郎・斎藤 泰一・堀 義己(川崎医大)

討論

セッションB 一般テーマ 社会行動のモデル論

A17・A18室

(10:00~12:00)

座長 鈴木 達三(統数研)・海野 道郎(関西学院大社会)

B-1 自由歩行者の集団サイズに関する数理モデルの追跡研究

池田 央(東工大)

B-2 意思決定過程モデルによる二人社会の分析

海野 道郎(関西学院大社会)

B-3 「ただ乗り問題」の解消に関する実験的研究(I)

—実効度の認識と余裕度の有無とがもたらす影響—

○富山 慶典(社会環境システム研)・武藤 克巳(東京理科大)・佐伯 胖(東大教育)

B-4 「ただ乗り問題」の解消に関する実験的研究(II)

—自己原因性感覚の高揚—

○武藤 克巳・富山 慶典・佐伯 胖

B-5 Human Eco-Biological Spaceの構造解への2層回帰モデルの適用

○伊藤 政志(都公害研)・野田 一雄(統数研)・品田 穰(文化庁)

立花 直美(武蔵野美大)・平手小太郎(東大工)

討論

総会 (13:00~14:00)

A31室

特別テーマ 日本 西と東

A31室

(14:30~17:30)

座長 井上 俊(名大医)・石水 照雄(名大文)

1. 食と住における西と東

久保 幸夫(東大理)

2. 世論調査にみる日本、西と東

杉山 明子(NHK放送世論調査所)

3. ことばから見た日本、西と東

野元 菊雄(国立国語研)

4. 疾病の地域差—日本の西と東

青木 国雄(名大医)

5. 死因からみた健康状態における日本の西と東

寺尾 浩明(帝京大医)

討論

第 2 日 午前

9月4日(金)

セッションC 一般テーマ 言語・認知

A15・A16室

(10:00~12:00)

座長 南 不二男(国立国語研)・多鹿 秀継(愛教大教育)

C-1 大都市における言語生活の実態(3) 一生粋東京人・生粋大阪人の分析―

○米田 正人・江川 清(国立国語研)

C-2 大都市住民のアクセント・タイプの識別 ―原資料からの補正の方法―

○江川 清・南 不二男(国立国語研)

C-3 言語解析モデルの実証的検討

○往住 彰文・金子 康朗(北大文)

C-4 人工言語の習得過程

○増井 透(名大教育)・岸 学(東京学芸大教育)

C-5 2刺激間距離判断事態での標準点のなりやすさ

伊藤 康児(名大教育)

討論

セッションD 一般テーマ 尺度構成

A17・A18室

(9:40~12:00)

座長 斎藤 堯幸(北大文)・中谷 和夫(京大教養)

D-1 類推推理にもとづく多次元尺度構成法(1)

○岡太 彬訓(立教大社会)・今泉 忠(東京工大)

D-2 類推推理にもとづく多次元尺度構成法(2)

○今泉 忠・岡太 彬訓

D-3 逐次形MDSの拡張について

○宮埜 寿夫・犬飼 幸男(製科研)

D-4 因子モデルによるMDSについて

斎藤 堯幸(北大文)

D-5 Analyses of Asymmetryの統一の試みと関連技法について

千野 直仁(愛知学院大文)

D-6 PARAFACにおける新しいアルゴリズム

○林 知己夫・林 文(統数研)・山岡 和枝・寺尾 浩明(帝京大医)

討論

セッションE 一般テーマ 自動診断

A24室

(10:00~12:00)

座長 開原 成允(東大医)・井上 通敏(阪大医)

E-1 逆問題解としての診断の不確定性

○田中 博・秋場 優子・谷島 一嘉・古川 俊之(東大医)

E-2 Inferenceのための知識と Referenceのための知識

○小山 照夫(都老研)・開原 成允(東大医)

E-3 人工知能による冠動脈造影像の自動解析

○楠岡 英雄・井上 通敏・稲田 紘・辻岡 克彦・堀 正二・阿部 裕(阪大医)

E-4 画像情報を用いた輸液診断システム

○秋場 優子・田中 博・原 正一郎・谷島 一嘉・古川 俊之(東大医)

E-5 マイクロコンピュータによる確率計算を用いた自動循環器疾患診断機の試作

○谷口 博康・音瀬 廣章・井形 昭弘(鹿児島大医)

討論

第 2 日 午後

9月4日 (金)

特別講演

(13:00-14:00)

A31室

「地震災害に対する行動計量学的アプローチ」

司会 内田 良男 (名大教育)

講演 林 知己夫 (統数研)

パネルディスカッション 言語処理

(14:30-17:30)

A31室

司会 (キーノートスピーカー) 戸田 正直 (北大文)

1. 自然言語の意味処理——並立の助詞「と」の意味処理を題材として 田中 穂積* (電総研)
2. 春うらゝ俳句を作る計算機 水谷 静夫* (東京女子大文理)
3. コンサルテーションシステムと言語処理 開原 成允 (東大医)
4. 言語処理における連想の役割 長尾 真* (京大工)

ディスカッサント

佐伯 胖 (東大教育)

総合討論

*印は非会員

第 3 日 午前

9月5日 (土)

セッションF 一般テーマ 統計

A15・A16室

(9:40~12:00)

座長 仮谷 太一(川崎医大)・脇本 和昌(岡山大教養)

F-1 時間依存型 Fuzzy Random Variables について

○宮腰 政明・佐藤 義治・河口 至商(北大工)

F-2 マルコフモデルの推移確率の推定精度について 一冠動脈疾患を例にとつて

○梶谷 文彦・鎌山 光庸・伯耆 徳武・友永 轟(川崎医大)・楠岡 英雄・井上 通敏(阪大医)

F-3 コンパートメントアナリシスにおけるトレーサ量の多寡による状態のゆらぎについて

○鎌山 光庸・梶谷 文彦・仮谷 太一・伯耆 徳武・友永 轟(川崎医大)

F-4 I-C標本にもとづく回帰分析

仮谷 太一(川崎医大)

F-5 重複回答項目の連関測定

○垂水 共之・田中 豊(岡山大教養)

F-6 二元配置モデルによる時系列水質調査データの分析

板倉 秀清(京大工)

討論

セッションG 一般テーマ 計算機利用

A17・A18室

(9:40~12:00)

座長 河口 至商(北大工)・村本 正生(南山大経営)

G-1 マークマスク方式による計算機へのデータ入力

久慈 要(東工大)

G-2 学術文献の関係グラフによるクラスタ分析

齊藤たつき(北大工)

G-3 長期追跡研究用データベースの試作(第3報) SASの利用

○廣田 安夫・竹下 節子(九州歯科大)・上田 一雄(九大医)・喜久村徳清(九州歯科大)
・志方 建・藤井 一郎・蓮尾 裕(九大医)・竹下 司恭(九州労災病院)

G-4 薬効評価をモデルにした統計パッケージ

○高橋 行雄(日本ロシュ)・田中 健(日本科学技術研修所)

G-5 平面におけるポテンシャル補間法と移動平均法による等計量線地図の作成

市川 伸一(埼玉大)

G-6 動的表示を用いた多次元データのグラフ表現とその応用

○水田 正弘・佐藤 義治・河口 至商(北大工)

討論

セッションH 一般テーマ 心理

A24室

(9:40~12:00)

座長 高倉 節子(東京女学館短大)・石井 巖(立大文)

H-1 AIDによるロールシャッハ図版に対する印象と不安水準の関連の分析

辻本 英夫(大阪市大文)

H-2 一対比較の一方法

高倉 節子(東京女学館短大)

H-3 MDSによる無限音階複合音の高さの分析

大串 健吾(NHK基礎研)

H-4 パーソナリティ認知様式の個人差に関する検討

○廣岡 秀一(名大教育)・林 文俊(愛工大)

H-5 二者関係認知の構造分析

丸山久美子(青山学院大文)

H-6 能力評価に関する実験と結果のモデル化

山本 勝輝・戸田 正直(北大文)

討論

第 3 日 午後

9月5日 (土)

セッションI 一般テーマ 多変量解析

A15・A16室

(13:00~16:30)

座長 生沢 雅夫(大阪市大文)・柏木 繁男(千葉大文)

- I-1 3つの相関の間の不等式および第1主成分による順位付け
○杉浦 成昭(筑波大数学)・吉村 啓(慶応普通部)
- I-2 準3相因子分析の最小2乗解
村上 隆(名大教育)
- I-3 MINRES法と因子数推定の諸基準
○柏木 繁男(千葉大文)・石塚 智一(鉄道労働科研)
- I-4 因子分析における変数選択とその打ち切り基準
○柳井 晴夫(千葉大人文)・市川 雅教(東大医)
- I-5 主成分分析における変数選択
○小竹 清文(鐘淵化学)・田中 豊(岡山大教養)
- I-6 生存時間研究における回帰の方法 —中途打ち切りによる影響の評価—
○惣田 隆生・松原 義弘・後藤 昌司(塩野義解析センター)
- I-7 ベキ正規分布上の判別
○畠中 駿逸・井上 俊昭・後藤 昌司(塩野義解析センター)
- I-8 ファジィ判別分析
○和多田淳三・田中 英夫・浅居喜代治(大阪府大工)
- I-9 コウホート分析について
○中村 隆・鈴木 達三(統数研)
- 討論

セッションJ 一般テーマ 医学

A17・A18室

(13:00~16:30)

座長 白崎 和夫(東大医)・宮原 英夫(北里大医)

- J-1 個人検査値の遷移確率と集団検査値分布との比較検討
○武田 裕・稲田 絃・楠岡 英雄・井上 通敏・阿部 裕(阪大医)
平井 勉(住友生命)
- J-2 臨床検査値の個人差の計量化について(第2報)
丹後 俊郎(都臨床医学総合研究所)
- J-3 脳波の Spikeの判別分析について
谷山 郷子・○藤掛眞里子(足利工大経営)
- J-4 青年期正常者のMMPIの因子分析
○高見堂正彦・宮原 英夫・小口 徹・三浦 貞則(北里大医)
- J-5 フェニトインの血中濃度予測に関する研究
折笠 秀樹(関東通信病院)

(viページに続く)

第 3 日 午後

9月5日 (土)

J-6 ある血液検査で観察された2峰性をめぐって

吉本 泰彦(放射線影響研究所)

J-7 がん死亡率と食物消費量の相関分析 —因果連鎖モデルによる解析—

○高木 廣文(聖路加看護大看護)・稲葉 裕(順天堂大医)
柳井 晴夫(千葉大人文)

J-8 癌の疫学に関する情報学的一考察

白崎 和夫(東大医)

J-9 CMIによる胃潰瘍・胃がん患者の判別分析 —未知群への判別の手法を用いて—

○奥津 則子(東大医)・柳井 晴夫(千葉大人文)・前田 和甫(東大医)

討論

セッションK 一般テーマ 社会

A24室

(13:00~16:30)

座長 鮑戸 弘(東大新聞研)・若林 満(名大教育)

K-1 地震予知情報の物理的、心理的影響についての考察

渡邊 忠政(立教大社会)

K-2 博覧会施設における観客の待ち行動に関する研究

小林 正美(京大工)

K-3 交通ルールの認知による行動変化について

桜田 一之(東工大工)

K-4 女子大生の意識に関する分析

二宮 玲子(日本女子大)

K-5 達成動機と親和動機の結合に関係する要因の検討

—偏主軸法による関連要因の探索—

土井 聖陽(関大社会)

K-6 ビジネスマン意識国際比較調査(1) 調査概要と日韓比較、業種別主要結果

○小嶋 外弘・杉本 徹雄(同志社大文)

K-7 ビジネスマン意識国際比較調査(2) 数量化第III類による分析結果

○杉本 徹雄・小嶋 外弘

K-8 地方政治における政治状況と予算編成 —47都道府県別、および647市別での
社会指標による分析—

鮑戸 弘(東大新聞研)

K-9 経営指標に対する主成分分析

星野 隆(東京理工専門学校)

討論